

バリアフリームーブメント

「いざ」じゃないとき知る知識！
「いざ」というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう！

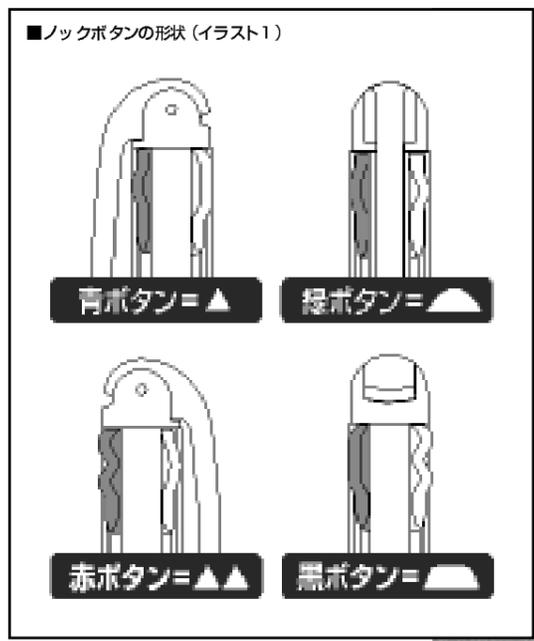
「今回のテーマ、
使いやすいように
配慮された文房具」

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や商品を紹介しているこのコーナー。
今回は弱視の人にも使いやすい文房具類をご紹介しますと思う。
(森川 美和)

ノックボタンにひと工夫！「リポーター」

「夜間に患者さんの見回りをする時に、ペンの色の区別ができてほしいのだけれど。」
病室によっては患者の状態脈や体温等を色別に記録しているところがあるが、薄暗い病室の中での色の識別が難しい。そんな声に応じて企画、販売されたのが(株)トンボ鉛筆の「リポーター」(写真2)である。ノックボタンの形状が色によって違うため、触っただけで識別ができる。(イラスト1)

「弱視の人の中には、書類を黒で書かなければならなかったのに赤で書いてしまい、書き直しをしなければならなかったと言っている。周りの人に聞けばいいと言入もいるかも知れないが、忙しく仕事をしている人に「この色何色ですか?」と聞くためだけに、度々仕事の手を止めさせるのは申し訳ないと感じている人もいます。」
しかし「リポーター」なら、弱視の人や色の区別がつきにくい人も、どの色がどの形状か覚えておけば使っ時に悩まなくて済む。



■多色油性ボールペン「リポーター」
●黒・赤インクの2色 (262円)
●黒・赤・青インクの3色 (315円)
●黒・赤・青・緑インクの4色 (367円)
各種軸色はスモーク、透明、透明ブルー、透明ピンクの4色
*価格はすべてメーカー希望小売価格です。
【リポーターのお問い合わせ】
お客様相談室 0120-834195
ホームページ: <http://www.tombow.com>

庭用品を数多く商品化してきました。「これからも」なるほど使いたい」と言っていた。魅力ある製品で身のまわりの不自由さを解消しようとする人達に立ちたいと話した。

塗ったところが「目瞭然」 「カラースティックのり」



日頃私たちは、封筒の封をする切手を貼る、袋とじをする、スクラップブックに新聞の切抜きを綴じる時などに「のり」を用いる。
のりは無色のものが多く、塗ったところがほとんど目立たなく「ステッカー」と光っているのり。この辺りのりがついていないな、と言ったことがわかる。
しかし、弱視の人や色の識別ができていない人にとっては、この「なんとなくついていてる部分」が分かりづらい。
塗ったところを確かめているうちに、すっかり乾いてしまったり、また塗りなおしということもあるのだ。
そこで登場するのが、住友スリーエム(株)の「カラースティックのり」(写真1)だ。
「カラースティックのり」は、のりが紫色に着色されており、のりを使って塗った部分に紫色がつくので、こののりがついていないのが分かり、乾くと透明になる。
サイズは3種あるので、用途に合わせて使い分けると効果的だ。
同社官公庁マーケットセンターの田熊マネージャは、「当社はフィルム加工や接着剤などの優れた基礎技術を持ち、ポストイットやメンディングテープなどユニークなオフィス用品、家



■「スコッチ(R) カラースティックのり」105円~315円
【商品のお問い合わせ】
住友スリーエム(株) 電話: 0120-510-333
ホームページ: <http://www.mmm.co.jp/>